

食物科2年生 美濃焼研修

■日時：平成30年11月7日(水) 午前7時30分～午後4時30分

■研修先：美濃焼ミュージアム(多治見市東町1-9-27)

曾木公園(土岐市曾木町)

道の駅 どんぶり会館(土岐市肥田町肥田286-15)

虎溪窯(多治見市住吉町2-29)

■目的：美濃焼の展示作品見学や陶芸体験、美濃焼に関する講話等を受け、食器に対する関心と理解を深める。

美濃焼ミュージアム



美濃焼の歴史と特徴について
講義を聞く様子



美濃焼のお茶碗で
抹茶を頂く様子

曾木公園



紅葉を眺めながら、深まる秋と色彩の美しさに
触れ、感性を磨いた。

器の形、色など風合いの違いを楽しみながら、美濃焼の
美しさや温もりを間近で感じることができた。人間国
宝の先生が作陶されたお茶碗で抹茶をいただくことも
でき、貴重な体験となった。

虎溪窯



実演を交えて作陶について学んだ後、電動ろくろで
茶碗や皿など思い思いの作品を仕上げた。土の感触
が新鮮で、ろくろの扱い方などとても勉強になった。



〈生徒の感想〉

- ・美濃焼ミュージアムでは、志野や瀬戸黒、織部など様々な美濃焼の歴史や特徴を学ぶことができた。私は黄瀬戸の茶碗で抹茶をいただいたが、風情ある茶碗でいただく抹茶はとても美味しく感じられた。
- ・曾木公園の紅葉がとてもきれいで、この美しさを料理で表現するにはどうしたらいいかなど、想像することができた。景色の見方によって、印象が違うことも実感し、より美しく見せる方法を追求することが大切だと感じた。
- ・陶芸体験では、意外と土が固くて力が必要だったし、形を決めていく過程の微妙な力加減も難しかった。料理を生かす器の選び方や盛り付けの配置ができるように、調理技術を高め、器についてもさらに勉強したいと思った。